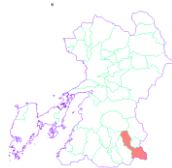


## 保険者訪問



歴史遺産と奥球磨の  
豊かな自然に恵まれた

歴史とロマンの町

# 多良木町



青蓮寺阿弥陀堂。美しい茅葺き屋根が目を引き



妙見野自然の森展望公園。結の鐘の  
向うに奥球磨の広がりが見渡せる

多良木町は、熊本県の東南端、宮崎県との県境にあります。鎌倉時代に遠江国の相良氏が多良木に土着し、明治維新までの約 670 年間、領主として球磨地方を治めてきたという歴史ある土地柄で、相良氏に関する史跡や寺社など多くの歴史遺産が点在しています。黒肥地地区にある青蓮寺阿弥陀堂は、上相良初代頼景公の菩提寺として 1295 年に創建されたと伝えられる、県下でも最大級の阿弥陀堂です。国の重要文化財に指定されていて、素朴ながら荘重な趣があります。また、町内には相良 33 観音の札所のうち 23 番栖山観音堂、28 番中山観音堂があり、春秋の彼岸の御開帳時には多くの参拝客が拝観に訪れます。

町の地形は、町をほぼ東西に貫く国道 219 号を南北にはさんだ中心部は平地ですが、その先は森林や山岳地帯に連なっています。平地部南端から小高い山を登っていくと、頂上に「妙見野（みょうけんの）自然の森展望公園」があり、奥球磨や人吉市まで一望できます。秋から春先にかけての霧深い日には人吉盆地の雲海が見られることもあります。公園内には「絆の丘・結（ゆい）の鐘」が設置され「永遠に幸せでありますように」の文字が刻まれていて、カップルに人気のスポットです。スカイスポーツ基地もあり、プロと 2 人乗りでパラグライダーの体験飛行ができます。毎年 11 月にはパラグライダーの競技大会「TARAGI えびすスカイフェスタ」が開催され（今年は 16 日）、九州内外から多くのフライヤーが集まって町の上空を飛び回ります。

町では、平成 22 年 7 月に町営の都市農山村交流施設「ブルトレインたらぎ」を多良木駅ホーム脇にオープンしました。寝台特急「はやぶさ」（平成 21 年まで東京熊本間で運行）の車輛 3 両を JR 九州から購入し、できる限り現役当時の風合いを残すように改装した素泊まりスタイルの簡易宿泊施設です。宿泊客はすぐ近くの温泉施設も利用でき、鉄道マニアや家族連れなどの人気を集めています。

人 口	10,333人	
国保被保険者数	3,280人	
	一般	3,086人
	退職	194人
後期高齢者数	2,221人	
世 帯 数	3,851世帯	
	国保世帯数	1,813世帯
医療機関 等数	医科	7機関
	歯科	5機関
	調剤薬局	7薬局
担 当 課	健康・保険課	

(平成 26 年 9 月末現在)

多良木町は県内でも医療費が低く、平成 20～24 年度における年間の 1 人当たり国保医療費は県内 41～44 位の範囲内で推移しています。それでも 1 人当たり医療費そのものは少しずつ上がってきており、また、特定健診受診率も低下傾向にあるということで、これらの改善に力を入れているという健康・保険課でお話を伺いました。

### 来年度からがん検診との同時実施で受診率アップを目指す

特定健診は現在、公立多良木病院健診センターに委託して個別健診で実施しています。自己負担は 70 歳未満が 2,000 円、70 歳～74 歳は 800 円です。

平成 20 年度の制度開始当初は、町の保健センターで住民基本健診やがん検診などと一緒に集団で実施し、受診率も 57% 前後ありましたが、実施日が限られ、その時期に農繁期などで忙しい人は受けられませんでした。そこで希望の時期に受けられるように平成 21 年度から個別に変更し、期間も 5～12 月と長く設定しました。ただ、受診者の利便性を考えて変更したつもりが、実際には、がん検診との同時受診ができないうえ、「町の健診を受けたから特定健診は受けない」という人もいて、受診率が下がってきました（平成 21 年度 57.3% から 25 年度 42.7% に、保健指導実施率も同 40.3% から同 38.6% に減少）。

そこで平成 27 年度からは再び、保健センターでの集団健診に戻すことにして準備を進めています。受診申込書を 11 月頃に郵送し、12 月中に区長を通じて回収します（特定健診だけでなく、19 歳以上の全住民の健診・検診申込書を世帯ごとに郵送する）。がん検診と同時に受診できるので、受診率が回復するのではと期待しているところです。

今年度の未受診者対策では、新たに雇用した看護師（非常勤）が、受診申し込み者で未受診者を 6 月から家庭訪問して勧奨しています。健診機関では 11 月に「追い込み健診」を実施する予定で、申し込んでいない人にも健診機関から勧奨通知と健診セット（問診票と尿検査キット）が送付されるので、少しでも受診する人が増えればと考えています。

特定健診の PR としては、町の住民基本健診の「追い込み健診」の勧奨通知を郵送する封筒に、特定健診受診促進のメッセージを掲載しました。また、平成 23 年度から健康づくりに関する活動をしている町の「健康応援隊」約 60 人が、居住する行政区の住民に受診を呼びかけたりしていますが、受診率はなかなか上がらない状況が続いています。

看護師が訪問している未受診者以外に申し込んでいない人への勧奨も必要なもので、もう少し余裕が出てくれば町として取り組んでいきたいと考えています。

### 昼は委託先で、夜は町の教室で特定保健指導を実施

特定保健指導も現在、公立多良木病院健診センターに委託して実施していますが、実施時間が昼間で、結果説明会で対象者に保健指導を勧めても「夜ならいいが昼は無理」と断る人もいるため、町が重症化予防で開催している栄養・運動教室を今年度から夜に開催することにし、その案内を実施機関から渡すようにしています。保健指導を断った人の名簿は実施機関から町に送られてくるので、電話でも勧奨します。教室は月に 1 回のペースで、栄養と運動を 2 回ずつ実施しています。また、実施機関での保健指導を拒否する人もいるため、時間が合えば地区担当の保健師が訪問したり、本人に保健センターに来てもらって保健指導を実施するなど、きめ細かいフォローを心がけています。

### 自殺対策や歯科保健など、町の課題に多角的に取り組む

その他の保健事業では、人吉球磨管内では県内でも自殺が多い傾向にあることから、心の健康問題に力を入れることにし、カウンセリングの実施やゲートキーパー養成に向けた準備などを行っています。また、「健康応援隊」を対象に、講師を招いて、周りにうつの人がいたらどう対応したらいいかなど事例を挙げながらの講演会を開催したほか、11 月には町職員を対象に同様の講演会を開催する予定です。

就学前者に対する発達相談も行っています。保育園と連絡を取りながら、国が定めた1歳半、3歳の幼児健診に加え、2歳、2歳半、4歳でも実施（全5回）するとともに、人吉球磨管内全体で保護者への育児支援や相談事業を行っています。支援が必要な児と親にできるだけ早い時期から対応すること、保育園や小学校との連携がスムーズにいくようにと考えています。

さらに、医療費適正化対策の一環として、歯科保健に力を入れています。町では乳幼児から中学生まで、う歯（むし歯）率・歯科医療費ともに県平均より高いことから、幼児期からのフッ化物歯面塗布と中学生までのフッ素洗口、1～4歳の歯科検診、生後6か月からの歯科衛生士によるブラッシング指導などに取り組んでいます。健康応援隊を対象にした歯周病やブラッシング指導に関する研修会も開催しています。

その他、医療費適正化では医療費通知と、今年度からはジェネリック医薬品の差額通知事業にも取り組んでいるところです。

### 「えびす祭り」に健康づくりコーナーを出展

町では、毎年10月20～21日に商工会と共催で「えびす祭り」を実施しています。以前は健康福祉まつりを開催していましたが、今は「えびす祭り」の中で、健康に関するコーナーを出展しています。

今年度は、町職員が食生活改善推進委員とともに、祭り前日からかりんとうを作って町内5カ所の保育園や来場者に配ったり、高血圧予防食作りの実演と試食、健康に関するポスターの貼付、野菜の重さ当てクイズなどを出展しました。

食生活改善推進委員の現在の会員数は32人で、通常は、行政区などからの依頼に応じて町の保健師や栄養士とともに生活習慣病教室を開催し、高血圧や糖尿病予防の料理教室や試食などを行っています。また、幼児健診でおやつ作りや食事についての話をしたり、中学校や保育園などで伝承料理教室を開催するなど活躍の場が広がっています。

### 税務課との合同徴収により収納率向上を目指す

国保税は5月～翌年2月の10期制で、平成24年度の収納率は91.56%（現年度分）、県下38位という状況でした（「熊本県国民健康保険事業状況報告書」より）。平成24年度までは賦課、徴収ともに健康・保険課の保険年金係（4人）で担当していましたが、20年度に93.58%（県下21位）だった収納率が下がり続けてきたことから、徴収業務については25年度から税務課（12人）と合同で取り組んでいます。税務課は地区担当制で、国保税も入ったことで地区割を組み直し、47行政区を1人2～4区ずつ担当して業務にあたっています。

納付方法としては口座振替も導入していますが、金融機関への直接納付の方が多い状況です。また、搜索や差し押さえは徴税全体として少しずつ実施しているところです。

平成25年度実績では24年度と比較して現年度分で約1%上がりました。今後も税務課とともに収納率向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。



健康・保険課保険年金係の職場風景

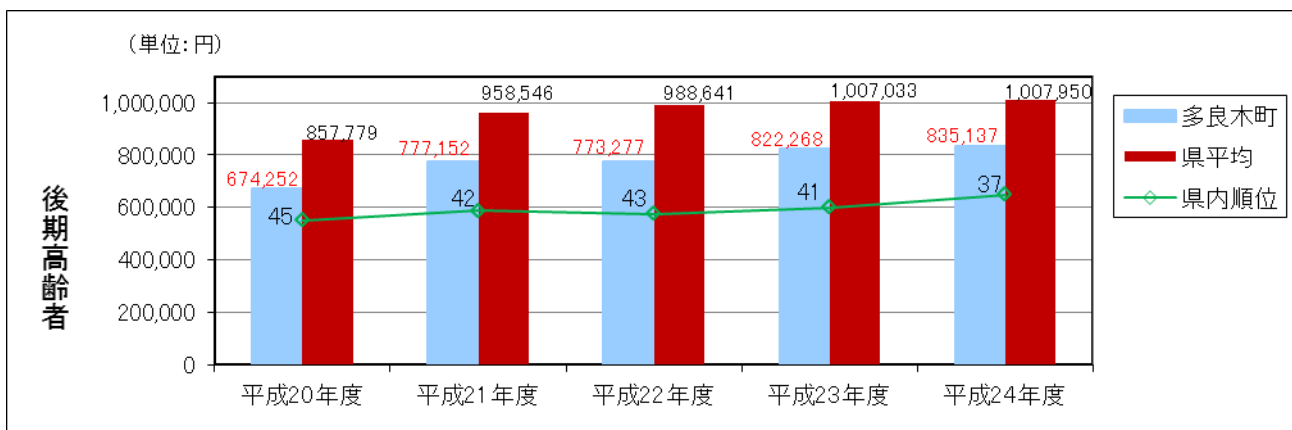
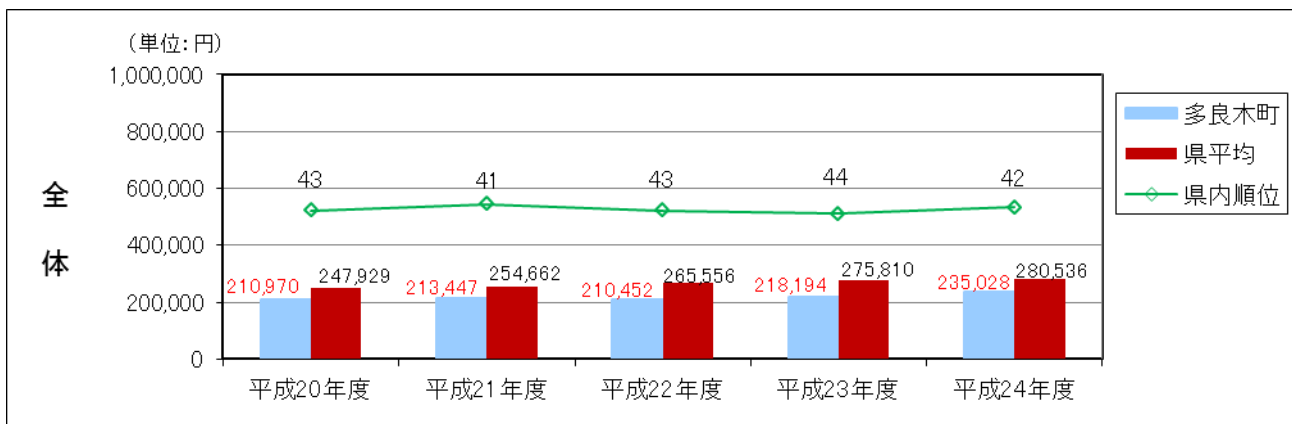
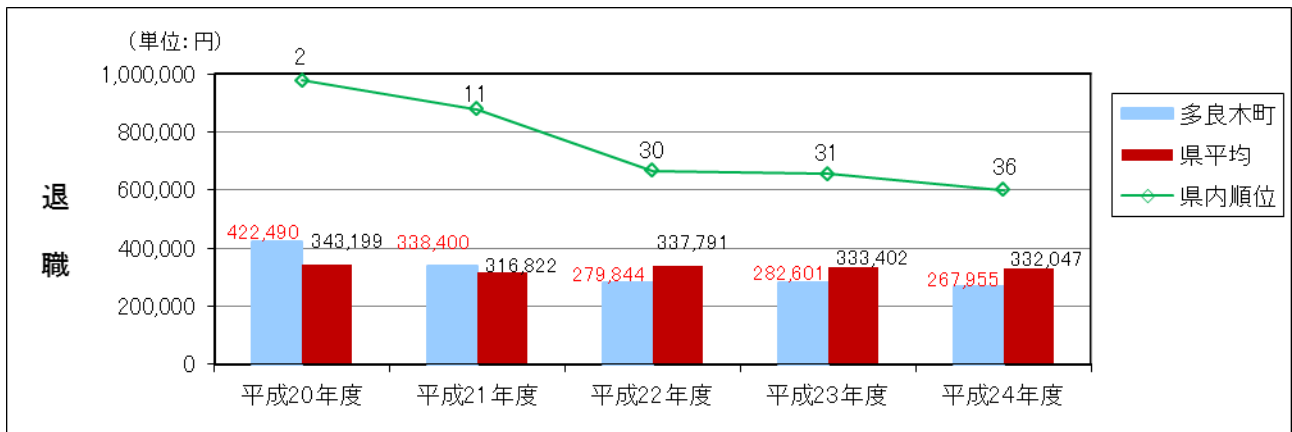
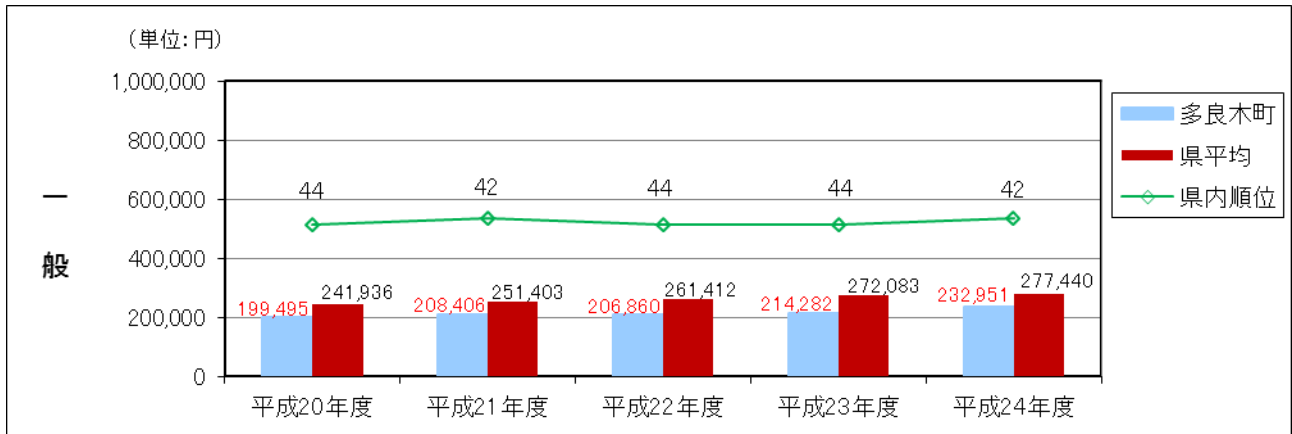
町の特産品



「球磨焼酎」

本格焼酎ブランドとして産地呼称が認められている「球磨焼酎」。多良木町にも多くの醸造元がある

### 法制別 1人当たり診療費



注：一般は国保被保険者のうち退職者医療制度の適用を受けない者、退職は被用者年金の老齢（退職）年金受給権者で被用者年金の加入期間が20年以上又は40歳以降10年以上の者及びその被扶養者、全体は一般と退職の合計。